

新入職員へのメッセージ

昭和大学病院 病院長 ^{さがら ひろのり} 相良 博典



新入職員の皆さま、入職おめでとうございます。医療人としての仲間入りをし、これから昭和大学病院に新たな閃きや気づきを与えてくれることを期待しています。

いよいよ4月から「医師の働き方改革」が始まります。厚生労働省から出された資料の一部には、「長時間労働の医師の自己犠牲により支えられている我が国の医療は危機的状態にある」という文言が記載されています。

医師の長時間労働是正のために提言された項目は、以下の3個です。

- (1) 医療機関内でのマネジメント対策（業務の移管や共同化、ICT活用による効率化や勤務環境改善）
- (2) 地域医療体制における機能分化や連携・集約化・重点化の推進
- (3) 上手な医療のかかり方の周知

(1)については「縦割りの組織を風通しよく、多職種が協力して業務の付加価値を上げる」ということや「電子カルテやオンライン診療など新しい技術を積極的に取り入れてもっとスピーディーに効率よく、無駄を見つけ改善する」といった工夫は重要でしょう。よりよく患者さんの状況を理解し、よりよい医療を提供するヒントが、日々の暮らしの中から得られることもたくさんあります。そのアイデアが病院全体にとっても好影響を与えていると考えています。人は一人一人、違う心と身体を持って生まれてきています。それぞれに個性ある人びとが、それぞれの考え、選択で働ける、懐深い環境を作っていくべきと思っています。医療の質の向上も、その環境づくりは重要です。越えるべきハードルはたくさんありますが、一歩ずつ、前に進めていくべきでしょう。

(2)の地域連携についてもとても重要です。地域医療体制として病院や診療所など、規模や専門性が異なる様々な医療機関が、それぞれの役割に応じて利用されるよう、つながりあって地域医療を支える考え方を進めていくべきでしょう。医療の世界も一期一会です。ひとたび、礼節を欠いた振る舞いで人の信頼を失えば、相談される機会を無くしたりして、その結果、手遅れとなったりと誰かの命に関わる事態が生じるかもしれません。人として正しいことを、常に心の真ん中に置いていたいと思っています。

(3)の周知も非常に重要です。保険診療の広告には医療法によって厳しい規制が設けられています。誤解を招く情報が発信されないための必要な措置ですが、逆に、ウェブサイトなどには、科学的に裏付けのない迷信や民間療法などが、派手なキャッチコピー付きでとめどなく氾濫していたりもします。

決して、「医者のための患者」にならずに、上手に医者にかかる方法。正しい医療知識。そういったものをお伝えしていくのも、ここでの大切な役割だと思っています。

これらを効率的に、かつ適切に運用・実行していくためには、地域医療の更なる活性化と強固な連携が重要です。常に患者本位の医療を念頭に置き、チーム医療の更なる活性化と力を注ぎたいと考えています。

日本では、足元の統計上の新規の感染者数も落ち着きつつあります。

しかし、After Corona というのが、災いから解き放たれるような鮮やかなコントラストを描くわけではなく、実際に直面するのは、コロナとの共存を前提とした With Corona の時代なのだという声を聞きます。後戻りのできない変化点を、私たちは越えたのでしょうか。色々な経験知から多くのことを学び、その方向性を導き出してきました。

結果として、このような経験の中から**私たちは心から理性を持って行動することで人命が助けられることを示さなければいけません。**

昭和大学病院のチーム医療の強みは、ここにあると思っています。

これから、ともに頑張っていきましょう。

新年度のご挨拶

昭和大学病院附属東病院 病院長 ^{むらかみ}村上 ^{ひでとも}秀友

昨年4月から昭和大学病院附属東病院の病院長を拝命している村上秀友と申します。この度、東病院長として2年目を迎えることとなりました。昭和大学病院附属東病院は昭和大学病院と一体的に運営されている病院です。両病院が車の両輪のごとく機能して患者様や地域に貢献できるよう、初年度の経験を踏まえてさらに頑張っ



大学病院には診療・教育・研究の3つの使命がありますが、いずれを取り巻く状況も時代と共に大きく変わってきています。その中でも大きな変化が2つあります。まず、臨床実習を行う医学生が共用試験に合格することで一定の医行為を行うことが法的に認められた clinical clerkship trainee として昨年秋から実習を行うようになってい

ます。また、この4月から医師の働き方改革が実行され、医師の長時間労働が罰則を伴う規制の対象となるなど、労務管理が厳格化されます。一方で病態の解明、新薬や新しい治療法の開発も各分野で鋭意進められています。様々な変化の中にありますが、大学病院は地域医療の最後の砦として、これまでも増して患者様や地域に貢献していきたいと考えております。その中で従来とは異なる点を患者様、ご家族や地域の医療機関の皆様がお感じになることもあ



トピック

香蘭女学校様からの寄付授与式を執り行いました

3月18日(月)昭和大学病院中央棟7階応接室にて、香蘭女学校中等科・高等科の生徒様からのご寄付授与式を執り行いました。

こちらは、未だ完全な終息を見せない新型コロナウイルスに対応している医療従事者への感謝の気持ちを、近隣の学校として伝えたいという思いから「ヒルダ祭」売上金の一部をご寄付いただくこととなりました。

授与式には、香蘭女学校中等科・高等科から校長の鈴木弘様、生徒部長 古明地香織様、ヒルダ祭担当教諭 槇あすか様、高等科生徒会長 深尾美帆様、ヒルダ祭運営委員長 陶山愛央様にお越しいただきました。

昭和大学病院からは 相良博典 昭和大学病院長、村上秀友 昭和大学病院附属東病院長、川野留美子 感染管理部門部長が出席いたしました。

職員一同香蘭女学校様のご厚意に心より感謝し、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後毎日々新型コロナウイルス感染症の治療に取り組み、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。



※ヒルダ祭とは…

年一回実施される香蘭女学校様の文化祭でございます。

第51回は令和5年9月30日・10月1日に実施されました。



お知らせ

ゴールデンウィークの診療体制について

ゴールデンウィーク期間の外来診療は以下の通りとさせていただきます。患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療体制	
	外来	救急外来
2024年4月29日(月・祝)	臨時診療日 【内科系】【小児科】 8:30~17:00	救急診療は原則 通常通り実施します。
2024年4月30日(火)	通常診療日	
2024年5月1日(水)	通常診療日	
2024年5月2日(木)	通常診療日	
2024年5月3日(金・祝)	臨時診療日	
2024年5月4日(土・祝)	【内科系】【小児科】 8:30~17:00	
2024年5月5日(日)	休診日	
2024年5月6日(月・祝)	臨時診療日 【内科系】【小児科】 8:30~17:00	

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。

※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費(注)(8,800円)を徴収いたします。

(注)紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。

新規配属

【新規採用】2024年4月1日付

- 耳鼻咽喉科 依田俊也 水吉朋美 榎本達仁 島津春香 鄭裕華 尤美遥 ●皮膚科 川上大輔 宋基旦 長谷川絢哉 畑貴之 望月ルカ
- 産婦人科 小林芙弥香 遠藤周祐 篠崎美里 須貝純 堤香穂 中崎駿 藤政瑠美子 前田康大 山田理以奈 湯本百香
- 心臓血管外科 高澤晃利 ●消化器内科 吉川薫 北村健哉 鶴岡ひかる 中山顕皓 ●小児科 山下真知 吉野日奈子
- 麻酔科 凌将登 福羅怜奈 ●リハビリテーション科 望月碧 小島大和 ●リウマチ・膠原病内科 笹倉知佳 高橋克典
- 呼吸器・アレルギー内科 伊藤友紀 川船早絵 増田玲良 ●糖尿病・代謝・内分泌内科 黒川育朗 志村浩平
- 循環器内科 黒部紗英子 齋藤純 半田直 増永裕輔 山田真美子 豊崎瑛士 井村康平
- 腎臓内科 塩見充加 下村知輝 鈴木智恵香 西村太一 林詩織 吉田峻祐 植田雅崇 鈴木喬 ●血液内科 林秀憲 川真田夏樹 長尾和紀
- 脳神経内科 大平紗生 小塩媛子 鈴木絢子 種子田倫子 成田遼 宮崎悠嵩 ●消化器・一般外科 内田泰誠 武井稔弥 吉田亮生
- 乳腺外科 杉浦知可子 山下愛理 佐藤史哉 ●脳神経外科 櫻木佑太 田中翼 寺嶋淳
- 整形外科 加藤広空 河合謙一郎 佐藤太夏 清水翔 成瀬莉亜 畠山丈 福久健人 安島桃子 横田紘幸 宮上真 酒井愛
- 形成外科 木原将隆 堀ノ内魁 ●眼科 紀伊健太郎 久保田大智 河野現紀 ●泌尿器科 朝倉聡 關陽子 宮間敦士
- 放射線科 松田光司 山本高史 ●救命救急科 岩本泰樹 須郷加奈子 町田麻美 ●臨床病理診断科 中山真悟
- 小児循環器内科 西村和佳乃

異動

【附属施設へ】(2024年4月1日付)

- 眼科 北村昂司(横浜市北部病院へ) ●救命救急科 栗岡辰典 梅景知大(江東豊洲病院へ) 柳澤薫(藤が丘病院へ)
- 鈴木康介(横浜市北部病院へ) ●形成外科 岡本笑奈 簗原沙和(藤が丘病院へ) 森田裕紀(横浜市北部病院へ)
- 血液内科 上杉由香(藤が丘病院へ) 佐々木陽平(横浜市北部病院へ) ●呼吸器・アレルギー内科 岡村佳穂(江東豊洲病院へ)
- 産婦人科 関根愛子(江東豊洲病院へ) 長坂彩(藤が丘病院へ) 波多江健五(横浜市北部病院へ) ●耳鼻咽喉科 木勢彩香(藤が丘病院へ)
- 循環器内科 井川渉 塚本茂人(横浜市北部病院へ) ●消化器内科 牛尾純(藤が丘病院へ)
- 小児科 松山大輝 安斎巨(藤が丘病院へ) 東みなみ(横浜市北部病院へ) ●小児心臓血管外科 佐野俊二(江東豊洲病院へ)
- 腎臓内科 溝渕正英(藤が丘病院へ) ●整形外科 青沼良隆 葉山隼平(藤が丘病院へ) 大下俊介(横浜市北部病院へ)
- 糖尿病・代謝・内分泌内科 江波戸彩乃(江東豊洲病院へ) ●乳腺外科 巢山かれん(藤が丘病院へ) 藤野美咲(横浜市北部病院へ)
- 脳神経外科 久保美奈子(藤が丘病院へ) 岡部純也(横浜市北部病院へ)
- 脳神経内科 門馬佑太郎 水間啓太(江東豊洲病院へ) 渡辺大士 大橋英朗(藤が丘病院へ) 矢野怜(横浜市北部病院へ)
- 泌尿器科 一村侑樹(藤が丘病院へ) ●皮膚科 辛和樹 橋本恵里(江東豊洲病院へ)
- 放射線科 佐伯美帆 村瀬悠也 三大寺千咲(藤が丘病院へ) 牧田真弥(横浜市北部病院へ)
- 麻酔科 田中崇之(江東豊洲病院へ) 菊地健太(藤が丘病院へ) 松土桜子 谷本翔太(横浜市北部病院へ)
- リウマチ・膠原病内科 高橋佑典(藤が丘病院へ) ●臨床病理診断科 井上笙(藤が丘病院へ)

お知らせ

医師の配属・異動・退職について

異 動

【学外施設へ】(2024年4月1日付)

- 救命救急科 河守咲季 服部奈津子 土屋雄揮 島田拓哉 ●産婦人科 李佳陽 小倉勇輝 佐藤麻柚 木村英人 平林歩 田中紗栄子
- 耳鼻咽喉科 溝上雄大 井島貴宏 ●集中治療科 落合雅也 松本知也 工藤万由
- 循環器内科 小倉邦弘 酒井陸郎 正司真 上野倫平 織田彩花 甲斐陽介 鈴木芳和 横川大介
- 消化器・一般外科 齋藤和彦 篠原由加里 山崎達也 石井美凧 安藤熙典 ●消化器内科 上原孝太 小澤朋弘 高橋傑 宇佐美智乃 音山裕美
- 小児科 安部マリア 桑慧行 佐々木洋亮 伊従朱音 直江千佳子 木村翔大 ●小児循環器内科 長岡孝太
- 腎臓内科 津端智 堀口花実 河西美絃 阿部一輝
- 整形外科 百々悠介 中村彰太 久保祐太郎 宮澤聡明 早川周良 西方一将 ウエストファル結衣 勝盛雅史 杉山大輝 荒木溪 向坂瑛志朗
- 脳神経外科 入江亮 野口伸一郎 ●脳神経内科 小菅将太 イズデブスキ彬子 須藤宗 邊見光
- 泌尿器科 山岸元基 松井祐輝 角川義樹 森省二 角田尊 ●皮膚科 山浦真衣子 ●麻酔科 山口純可
- リウマチ・膠原病内科 磯島咲子 ●リハビリテーション科 中山麻理 ●呼吸器・アレルギー内科 佐藤奈緒
- 糖尿病・代謝・内分泌内科 西原澄芳 ●血液内科 成田雛子

(2024年4月10日付)

- リウマチ・膠原病内科 猪狩雄蔵

【附属施設から】(2024年4月1日付)

- 放射線科 萩原遼太(横浜市北部病院から) ●眼科 加藤大智(横浜市北部病院から) ●麻酔科 千頭和彩 西原理恵(歯科病院から)
- 産婦人科 鈴木雄祐(藤が丘病院から) ●小児科 高橋碧(横浜市北部病院から)

【学外施設から】(2024年4月1日付)

- 救命救急科 宮本和幸 ●形成外科 簗原沙和 ●血液内科 島田翔太郎 岡村玲子 ●呼吸器・アレルギー内科 島村美理 ●産婦人科 安井理
- 腫瘍内科 鈴木梨沙子 ●循環器内科 河原咲子 住田有弘 新井帝東 荒井研
- 消化器・一般外科 柴田英貴 望月清孝 渡邊健 井関貞仁 松根佑典 ●腎臓内科 山下茉由 飯田菜央 梶尾優希 小林和貴
- 整形外科 清家正貴 葛島大知 西正智 西田甫 田代皓一郎 ●内視鏡センター 飯高正典 ●脳神経外科 東園和也
- 脳神経内科 野勢崇博 和田隆秀 洲之内あすさ ●泌尿器科 富山亮弘 橋本湧 ●皮膚科 雷小峰 和泉光晃 ●麻酔科 植野太佳裕
- 眼科 鳶寺創平 ●糖尿病・代謝・内分泌内科 音山友里恵

(2024年4月15日付)

- 脳神経外科 近貴志

(2024年4月30日付)

- 産婦人科 安井理

退 職

(2024年3月31日付)

- リウマチ・膠原病内科 林智樹 ●眼科 宮澤和基 ●救命救急科 佐々木茉莉子 ●血液内科 藤原峻 ●呼吸器外科 新谷裕美子
- 産婦人科 小田原圭 横野佑太郎 ●循環器内科 佐藤里沙 ●小児科 小林梢 ●消化器・一般外科 佐藤義仁 和田友祐 藤森聰
- 消化器内科 魚住祥二郎 牛腸俊彦 森大地 富士貴弘 野村英里佳 ●整形外科 天野貴司 小山真平 岡田拓巳 ●精神神経科 戸田重誠
- 頭頸部腫瘍センター 田下雄一 ●脳神経内科 島田豪 ●泌尿器科 前田佳子 ●皮膚科 城内和史
- 放射線科 樋口舞香 金井貴宏 森田光賜 ●麻酔科 神山瑞恵 真宅真与 大杉枝里子 石原大雅 ●臨床病理診断科 鈴木源晟 中野優太郎



当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

放射線技術部から管理課へのありがとう！



管理課管理係のみなさんへ

学会等の出張申請、PHSの新規申請、緊急時タクシー代の申請など日々の様々な臨床で発生する申請に際して、快くご対応いただいております。

【患者さんに与えた良い影響】

組織運営が積極的かつ効率的に運営することができており、スタッフのスキルアップや医療安全の質向上につなげることができています。

管理課管財・営繕係のみなさんへ

放射線関連機器の故障修理に際し、専門的知識を有していらっしゃる、その上で快く相談に乗っていただいております。

【患者さんに与えた良い影響】

機器故障がスムーズに解決できており、安全に検査を行える環境を患者さんに提供することができます。



管理課管財・営繕係のみなさん

クオリティマネジメント課から薬剤部へのありがとう！



薬剤部 嶋村部長

嶋村部長・病棟薬剤師のみなさんへ

病棟でコロナウイルス等の感染症が発生し、感染管理部門で臨時の会議を開催する際、出席のご依頼が直前にも関わらずいつも業務を調整して出席してくださっています。

【患者さんに与えた良い影響】

迅速に嶋村部長から病棟薬剤師さんにご連絡していただき、ご協力いただいているおかげで、円滑に会議を開催することができています。

薬剤師のみなさんへ

手術予定の患者さんのカルテを見て、休薬期間が不足しているかどうかの確認をし、患者さんの掲示板に記入をしたり、医師にお伝えいただき誠にありがとうございます。

【患者さんに与えた良い影響】

薬剤師さんが詳細にご確認することで、医療安全管理部門に連絡が入り、情報共有がなされ、手術の安全性と患者トラブル防止が可能になっております。



薬剤師のみなさん



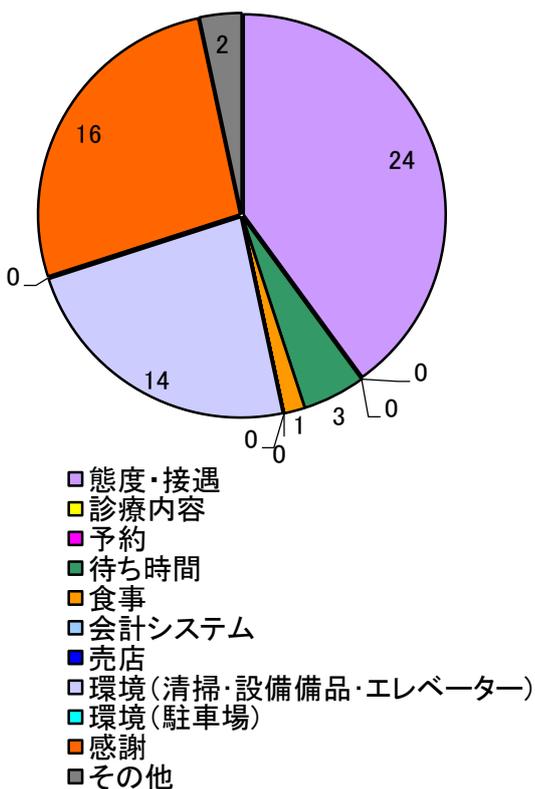
日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。
今後とも、よろしくお願いたします。



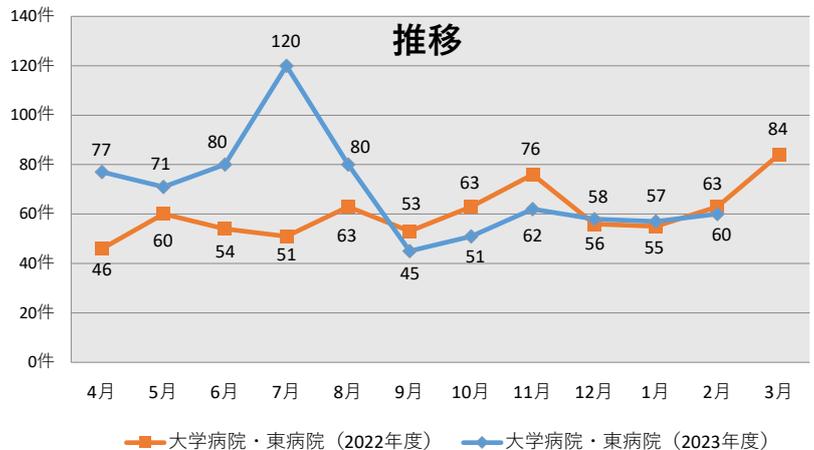
患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>いつもお世話になっております。 4階小児科の待ちが分かる電光ボードが1階にあると助かります。 障がいのある子と1階と4階を行ったり来たりするのが大変なので、お子さんによっては病院に到着した時点で、疲れ切ってヘトヘトのお母さんも多いと思います。お子さん連れの方の導線が少しでもラクになると嬉しいです。</p>	<p>ご不便をおかけし、大変申し訳ございません。貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。案内表示盤(電光ボード)の増設につきましては、院内で検討させていただきます。今後もより分かりやすいご案内が行えるよう検討してまいります。</p>	<p>医療情報室</p>
<p>生命保険担当の女性が大変良い対応をしてくれて助かりました。 何回も同じことを聞いてもイヤな顔もせず親切に対応してくれてとても嬉しく思いました。</p>	<p>この度は、お褒めのお言葉ありがとうございます。病院では不安なことが多々あるかとは思いますが、遠慮なく声をかけていただけて構いません。この言葉を励みに、今後も患者さんに寄り添った受付をスタッフ一同心掛けてまいります。ありがとうございました。</p>	<p>医事入院課</p>

2023年4月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
60件



2022年度・2023年度ご意見・ご要望の推移





当院での食事は、医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れた温かい食事を提供しております。今月は「お誕生日お祝い膳」をご紹介いたします。今後も季節や行事に合わせた食事をご提供してまいります。

※写真は昨年のものです。

メニュー

お赤飯、天ぷら、ブロッコリーのおかか和え、清汁、ケーキ

年度始めの医療現場のトピックスは、何と言っても「医師の働き方改革」です。医師の長時間労働改善に向けた取り組みとして、この4月から勤務医の時間外労働時間に上限が設定されます。一般企業には2019年から施行されている法令ですが、5年の猶予期間を経て、いよいよ医師にも適用されます。医師が健康に働き続けられる環境を整えるための制度ですが、最終目的はその環境が患者さんに還元されることです。手探りの中始まった改革ですが、患者さんの幸せにつながる医療が実践できるよう、病院を挙げて取り組んで参ります。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：入山 洸希、大江 克憲、大内 久美子、岡崎 靖子、鷺見 賢司、富田 英、並木 美加子、蜂須賀 綾香、林 直輝、本寺 哲一、村上 秀友、山岸 昌一、山下 剛史、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院

発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL：03-3784-8000（代表）